

# みんなで考え、実行する

## 「鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（改訂版）」

～自律的・主体的で実効性のある行財政改革～

### 令和3年度の実績について

#### 1 計画の策定趣旨

少子高齢化・人口減少の進展、地方分権の推進、社会経済状況の変化など市を取り巻く環境が大きく変化していく中で、将来にわたって安定した行政サービスが提供できる体制や仕組みを構築していくために、引き続き、行財政改革に取り組んでいく必要があります。このため、～みんなで考え、実行する～「鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（改訂版）」（令和元年度・令和2年度）を策定しました。

#### 2 進行管理及び評価検証

行財政改革推進プラン（改訂版）は令和2年度をもって計画期間が満了しましたが、第3次行財政改革推進プランの策定期間を延期したことから、令和3年度は行財政改革推進プラン（改訂版）の取組項目を継続することとし、進行管理及び評価検証を行います。

#### 3 計画の柱と取組み項目

計画には、「①歳入増のための取組み」、「②歳出抑制のための取組み」、「③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み」の3つの柱を掲げており、それぞれの柱ごとの取組み項目及び計画に掲げた計画期間中（令和元年度・令和2年度）の見込まれる効果額の目標は次のとおりです。

柱	取組み項目	【参考】 効果額の目標値 (令和元年度・2年度)
柱①歳入増のための取組み	16 の取組み	2 億 4 千万円以上
柱②歳出抑制のための取組み	17 の取組み	8 千万円
柱③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み	18 の取組み	—
全体	51 の取組み	3 億 2 千万円以上

#### 4 令和3年度における達成状況

##### (1) 数値目標に対する実績

	参考 令和2年度目標	令和3年度実績
① 行財政改革効果額	198,663 千円	643,296 千円
② 経常収支比率	※1 95%未満	88.9%
③ 財政調整基金残高	※2 19億円以上	1,864,443 千円
④ 財政健全化判断比率	早期健全化 基準未満	早期健全化 基準未満

※1 行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いています。

※2 令和4年2月に策定した「財政健全化計画」に定めた目標値

##### (2) 行財政改革効果額の詳細

No	取組み項目	参考 令和2年度目標	令和3年度実績
2	市税の収納率向上	117,512 千円	405,560 千円
3	国民健康保険料の収納率向上	21,742 千円	65,726 千円
5	放課後児童クラブ保護者負担金の収納率向上	121 千円	0 千円
6	介護保険料の収納率向上	3,574 千円	48,976 千円
7	公共下水道料金の収納率向上	2,280 千円	56,213 千円
9	手数料・使用料の見直し	5,000 千円	0 千円
10	未利用地の売却促進と有効活用	3,120 千円	757 千円
13	デジタルサイネージの導入	3,680 千円	3,848 千円
16	市ホームページへの有料広告の掲載	540 千円	105 千円
25	時間外勤務の抑制	40,000 千円	62,111 千円
33	公園、緑地の樹木伐採・剪定に伴う幹や枝のチップ化(可燃ごみの縮小)(事業終了)	1,094 千円	—
合 計		198,663 千円	643,296 千円

##### (3) 財政健全化判断比率の詳細

区分	国が定める 早期健全化基準	市財政健全化計画 に定める目標値	鎌ヶ谷市 令和3年度実績
①実質赤字比率	12.52%	設定なし	—
②連結実質赤字比率	17.52%	設定なし	—
③実質公債費比率	25.0%	10.0%	4.7%
④将来負担比率	350.0%	72.5%	36.8%

## 5 計画期間の数値目標に対する達成状況

区 分		R01	R02	R03
行財政改革 効果額	目標	125,447 千円	198,663 千円	
	実績	336,341 千円	524,757 千円	643,296 千円
	達成状況	達成	達成	
経常収支 比率	95%未満 ※1	96.2% (97.9%)	95.2% (97.3%)	88.9% (92.4%) ※2
	達成状況	未達成	未達成	達成
財政調整 基金残高	1,900,000 千円	2,497,066 千円	1,747,269 千円	1,864,443 千円
	達成状況	達成	未達成	未達成
財政健全化 判断比率	早期健全化 基準未滿	基準未滿	基準未滿	基準未滿
	達成状況	達成	達成	達成

※1 行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いています。

※2 経常収支比率欄の括弧書きの数値は、実際の経常収支比率の値

## 6 令和3年度の取組み結果について（全47項目）

行財政改革推進プラン（改訂版）の取組のうち終了した取組を除く47の取組の行動評価、全体評価は以下の表のとおりです。

### 《行動評価》

区分	行動評価	項目数
A	計画を上回る	1
B	計画どおり	39
C	一部未実施	7
D	計画を見直した	0

### （1）計画を上回るとした取組：1項目

No.	取り組み項目名	評価の理由
6	介護保険料の収納率向上（高齢者支援課）	滞納差押を強化したところ、R2年度差押件数11件、うち換価8件、991,260円に対し、R3年度差押件数102件、うち換価76件、5,043,359円となった。

(2) 一部未実施とした取組：7項目

No.	取り組み項目名	評価の理由
5	放課後児童クラブ保護者負担金の収納率向上（こども支援課）	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、夜間臨戸訪問を実施することができなかったため。
16	市ホームページへの有料広告の掲載（広報広聴室）	広告代理業者を導入した後も、導入以前から掲載していた事業者以外に新規の参入はなかったため。
20	民間活力の導入・推進（企画政策室）	各所属所から検討事項の要望がなかったことから、民間活力検討会議を開催しなかったため。 なお、AI-OCRの導入については実証実験を行い、新たに7業務について令和4年度より本格導入を実施することとした。
21	指定管理者制度の導入（企画政策室、生涯学習推進課、文化・スポーツ課、こども支援課）	各所属所から検討事項の要望がなかったことから、民間活力検討会議を開催しなかったため。 また、児童センターの指定管理者制度の導入については、指定管理者制度の導入に伴うデメリットを整理し、直営方針での運営とすることについて、令和4年度中に決裁を受けることとしたため。
36	財務会計システムの検証及び地方公会計制度の整備（財政室）	地方公会計制度の活用方針の検討及び決定を計画していたが、次期行財政改革推進プランの検討のなかで、R4年度に活用案の策定、R5年度に方針決定として取り組むこととしたため。
45	ガイドボランティアの推進（郷土資料館）	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ガイドボランティアによるガイド活動を休止したため。
46	都市公園の管理運営の見直し（公園緑地課）	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公園サポーターの意見交換会や視察研修等を中止したため。

《全体評価》

区分	全体評価	項目数	備考
1	終了	0	完了し、終了する
2	廃止	0	計画期間内における検討を終了
3	休止	0	計画期間後の再開を前提に休止
4	縮小	0	規模を縮小
5	改善	3	実施方法等を改善し継続
6	精査・検証	40	実施内容を精査・検証し継続
7	拡充	4	重点的に資源等を配分し規模拡大

(1) 改善とした取組：3項目

No.	取り組み項目名	評価の理由
12	企業誘致の推進 (商工振興課)	旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンター跡地における企業誘致の促進を図るため、契約管財課と連携する。また、庁内の担当者情報共有会議の定期的な実施や金融機関等との更なる連携強化を進めていく必要があるため。
36	財務会計システムの検証 及び新公会計制度の整備 (財政室)	財務書類の活用案の作成や財務会計システムの改善に着手していくため。
39	人事評価制度の見直し (人事室)	人事評価に係る負担軽減等のため、人事評価システムの運用を開始するため。

(2) 拡充とした取組：4項目

No.	取り組み項目名	評価の理由
15	ふるさと納税制度の活用 (財政室)	更なる寄附額の向上、魅力発信の強化、事務の効率化を進めていくため。
19	公用車の配置台数の適正 化(契約管財課)	新たな更新基準に基づき、ハイブリッド車を含めて更新車両の選定を行うとともに、車両の調達の手法等を検討していくため。
20	民間活力の導入・推進(企 画政策室)	AI-OCRを導入済みの業務については課題等を検証するとともに、対象範囲を拡大していくため。なお、その他の業務についてもデジタル化について検討を進めていく。
31	施設の維持管理に係る長 寿命化(契約管財課、営繕 室、企画政策室)	課題を整理したうえで長寿命化に資する具体的展開を図るため。